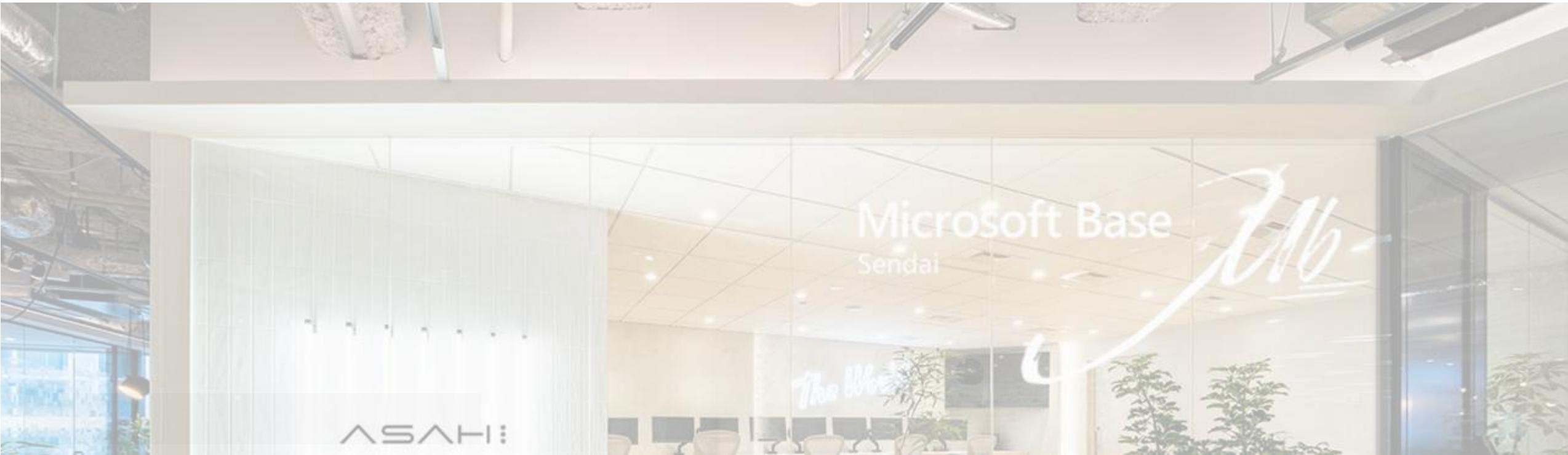


当社のDXへの取り組みについて

2026年1月12日

© 2026 ASAHI Accounting Robot Research Institute



当社経営ビジョン

ロボットはロボットの得意な業務を、ヒトはヒトにしかできない業務を ヒトとロボット協働時代を推進する。

企業は変化の激しい時代に直面し、新たなTechnologyであるAIやRPAを活用し、成長したいと望んでいます。

一方で、企業は、RPAやAIを活用する人材不足に悩み、足踏みしている状態が続いています。

私たちは、RPAやAIを中小企業が身近に活用する時代になることを目指し、DX推進支援、AI活用支援サービスを展開しています。

株式会社ASAHI Accounting Robot研究所
CEO 田牧 大祐



DX推進戦略について

当社は2023年10月に策定した中期経営計画に基づき、DXを中心としたビジネスを事業戦略としています。

DX推進においては、社内導入しているMicrosoft 365およびPower Platformをベースに、顧客のDXを支援しております。また、顧客のDX推進課題は多岐に渡ります。その解決のために社内でデジタル人材を育成していく必要があり、以下に取り組んでおります。

主要施策（2025年度から2027年度までの重点取り組み施策）

- 1) RPA等デジタル技術の活用により、全国の働く人たちの時間を創出し、ヒトはヒトにしかできない仕事へシフトするサポートをしていく
- 2) 全国の中小企業で働く社員に、不足するデジタル人材として新たな技術・スキルを身につけるリスキリング支援を行う
- 3) 自社のDXノウハウを、積極的な情報発信により他の企業の規範として社会に還元していく

DX推進戦略について

【具体的な取り組み】

・<自社の取り組み> 税理士法人の経営企画室で業務自動化の取り組みの一環としてパソコンロボットによる業務自動化技術RPAの活用を開始し、試行錯誤をしながら社内展開・開発を進めてきました。現在では**社内で333のロボットが稼働**しており、日々の業務の中で欠かせない存在になっています。

・RPAは業種や事業規模を問わず、事務作業全般に活用できるため、事務部門における労働生産性の向上、社員の機会創出につながると感じ、自社だけでなく日本全国の中小企業をこの技術で救いたいと強く想い事業化しました。

・<他社の支援> これまで、**全国30都道府県で159社延べ957名に対してRPAの勉強会を実施して効果を実感いただいています。**また、継続的な開発サポートで、導入いただいている企業の自動化の支援を行っています。※2025年6月時点

・多くの企業で抱える人材不足・生産性が低いという課題に対し、RPAは業種や規模を問わず事務作業を自動化する技術で、労働生産性の向上に寄与できると考えています。

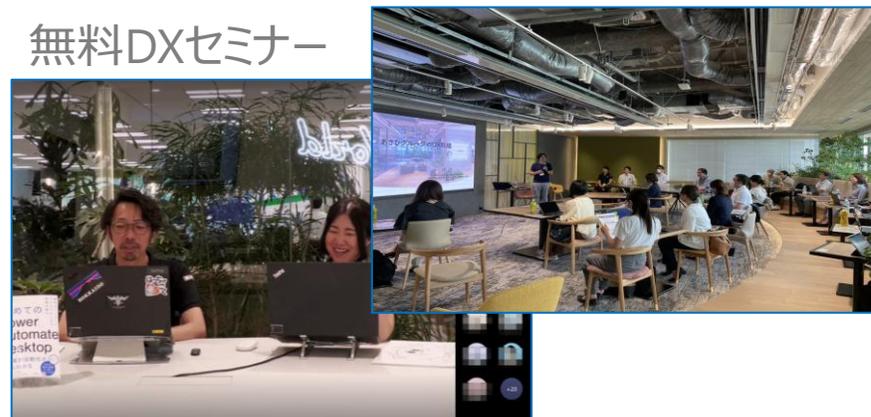
・どなたでも参加していただける**無料のDXセミナー**を毎月開催。オンラインで全国各地から多くの方の参加と反響をいただいています。

【取り組みイメージ】

RPA勉強会



無料DXセミナー



DX推進戦略について

【その他の取り組み】

・コミュニケーションツールの活用

Microsoft 365（Microsoft Teams）とChatworkの活用により、テレワークを推進しております（テレワーク勤務者15名、全社員の約4割）。これにより場所の制約がなくフレキシブルな勤務時間の実現によって、多様な人材の雇用と活躍のチャンスを増やしています。

・電子契約の推進、ペーパーレス化

電子契約の利用により、契約締結までの期間短縮、データの保管や紙使用によるコスト削減を実現しています。

・オンラインによる採用活動

Microsoft Teamsのビデオ会議により非対面での面接を実現、場所・時間の制約を解消することで効率化を進めています。

・社員向け研修の実施

Power Platformの社内研修を定期的実施、デジタル人材の社内リスキングを推進しています。

・認定DXアドバイザースペシャリスト在籍

一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会認定DXアドバイザースペシャリスト1名在籍。

・Microsoft MVP在籍

Microsoft社が製品とサービスに関する極めて深い技術知識があることを認定する制度Microsoft Most Valuable Professional（Microsoft MVP）7名在籍

DX推進戦略について

【デジタル技術を用いたデータ活用の取り組み】

・全社員の工数管理データの活用

全社員の業務工数を、Microsoft 365と自社開発のPower Appsアプリにより案件別・担当者別に記録・蓄積、工数データをPower Apps上で可視化し、個人単位の負荷状況を定量的に把握している

・案件管理データの活用

営業・案件管理については、Microsoft 365と自社開発のPower Appsアプリにてリード獲得から受注・継続支援までのステータス、案件規模、業種、提供サービス内容などのデータを一元管理している

・チャットサポート等の顧客接点データの活用

自社が提供するチャットサポート問い合わせ対応について、問い合わせ件数、解決数、回答者、タスク状況をMicrosoft 365とPower BIにより可視化し、「同一内容の問い合わせの多発状況」や「カテゴリ別の発生件数」を分析して、サポートサイト記事拡充や同一内容問い合わせの回答テンプレート化を行っている

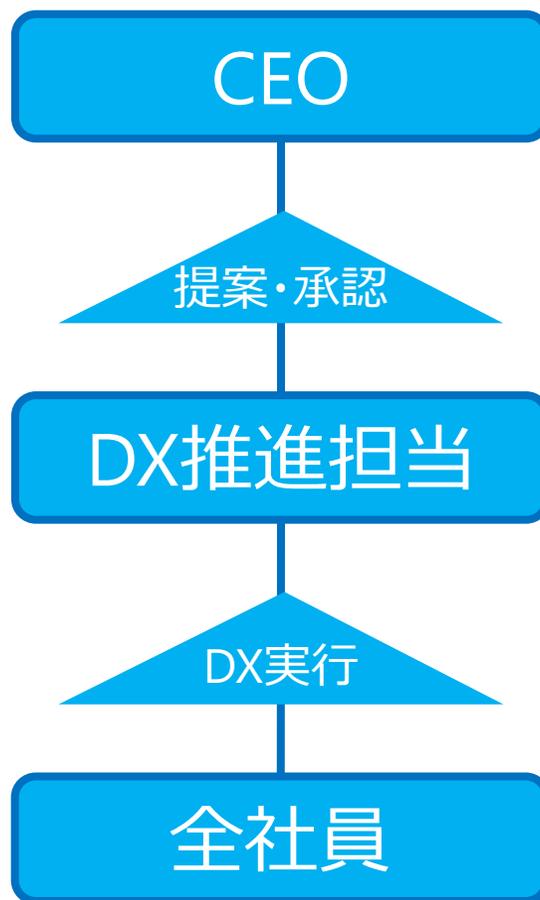
DX推進戦略のためのITシステム・デジタル技術活用環境の整備

当社では、DX推進戦略のため以下について戦略的投資を進めます。

- 1) 自社および顧客DX推進のため、RPA（業務自動化）、アプリ開発への投資
- 2) Microsoft 365（Microsoft Teams）、Chatworkなどテレワークに欠かせないツールへの投資

DX推進体制について

当社はDX戦略を実現するため、CEOを責任者としてDX推進担当が全社員の意見を集約して報告し、全社員一丸となってDXに関わる新規ビジネス提案等の積極的なチャレンジと迅速な意思決定を実現しています。



新規ビジネスの創出

当社のDXへの取組みは対外的なご評価を頂き、様々な賞を受賞するに至りました。

- 2023年 ITreview Grid Award 2023 Winter Leader受賞
- 2023年 ITreview Grid Award 2023 Spring Leader受賞
- 2023年 ITreview Grid Award 2023 Summer Leader受賞
- 2023年 ITreview Grid Award 2023 Fall Leader受賞
- 2023年 「TOHOKU DX大賞 2023」支援部門最優秀賞受賞
- 2024年 DXセレクション 優良事例選定
- 2024年 DX認定事業者認定
- 2024年 2024年度(第42回)IT賞を社会課題解決領域で受賞
- 2025年 日本DX大賞支援部門で大賞受賞

このようなフィードバックをもとに、新たに2023年5月よりMicrosoft Power Appsの開発支援・研修サービスを提供開始し、さらに以下項目については内容を都度更新しながら継続して実施しています。

- ・どなたでも参加可能な無料のセミナーを毎月開催
- ・中小企業経営者向け、RPA初心者の方向けの書籍を累計4冊刊行
- ・Microsoft Power Automate、Power Appsの学習コンテンツを無償開放
- ・業務目線の解説動画をYouTubeにて無償配信

DX推進における指標

当社のDX戦略達成状況に係る指標として、下記を掲げております。

各指標については全体会議（1回/月開催）にて全社員で状況を把握し、定期的に更新を行います。

1) データ分析に基づく業務カイゼン件数

全社員の工数管理データ・案件管理データ・チャットサポート等の顧客接点データを分析し、その結果を根拠として実施した業務カイゼン施策（プロセス変更、標準化、RPA導入、マニュアル整備等）の件数

2) データドリブンな経営意思決定数

全体会議において、Power AppsアプリやPower BIレポートを用いて行った主要な経営意思決定（新サービス開発、リソース配分変更等）の件数

3) データ活用による顧客対応の効率化

チャットサポートや問い合わせ対応における、案件カテゴリ別問い合わせ件数、平均対応時間、一次回答率

Microsoft Base
Sendai

Ab

ASAHI: ~~ロボットはロボットの得意な業務を
ヒトはヒトの得意な業務を
ヒトとロボット協働時代に担います~~
ASAHI Accounting
Robot 研究所